

2018年6月25日
株式会社 ホテルオークラ

日本の伝統美の継承と革新、和のこころをもって世界をもてなす

『The Okura Tokyo』 2019年9月上旬に開業

グループ初となる「オークラ ヘリテージブランド」の創設
宴会・婚礼予約は2018年9月より受付開始
宿泊予約は2019年4月より受付開始

株式会社ホテルオークラ(本社:東京都港区、代表取締役社長:荻田敏宏)は、ホテルオークラグループの中核事業であるホテルオークラ東京の本館建替計画のホテル施設について、その概要を決定いたしましたので、お知らせいたします。

1. ホテル名称

英語名: **The Okura Tokyo** 日本語名: オークラ東京



当社は、現在、海外を中心に「オークラ プレステージ」ブランドによるホテルを展開しておりますが、今般、新たに、ホテルオークラグループのトップブランドとして「オークラ ヘリテージ」ブランドを創設いたします(*)。そのうえで、「オークラ ヘリテージ」及び「オークラ プレステージ」の両ブランドのショーケースともなる新ホテル『The Okura Tokyo』を開業いたします。

当ホテルは、オークラ ヘリテージ、オークラ プレステージという当社を代表する2つのブランドを一体で運営する「Two Brand One Operation」のホテルとなります。この2つのブランドを運営する特別なホテルとしての位置づけを明確にするために、新本館のホテル名称を、ホテルオークラ東京から『The Okura Tokyo』として、新たに出発いたします。

(*)オークラ ヘリテージとは、その国の文化や歴史的遺産を継承した重厚感と気品に満ちたラグジュアリーホテルブランドで、ゆっくり紡がれてきた時間が息づく荘厳な雰囲気とホテルオークラの真髄を極めたおもてなしで、至福の時間(とき)を過ごしていただくことをブランドの価値観としております。

2. ホテル概要

ホテルオークラ東京は、1962年に「海外の模倣ではなく、世界に通じる日本独自のホテルの創造」を目指し開業いたしました。また、これを実現するために「Best A.C.S.」を掲げ、最高の施設(Accommodation)、

最高の料理(Cuisine)、最高のサービス(Service)を追求し、以来約55年の間、国内外の賓客を迎え入れてまいりました。

The Okura Tokyoの開発コンセプトは、「伝統と革新」。日本館に息づいていた「日本の伝統美」を継承しつつ、最新の設備・機能に刷新いたします。またホテルオークラグループが今まで大切にしてきた「Simplicity & Elegance(清楚にして優雅、華美過ぎない洗練された上質さ)」をデザインコンセプトとし、最高の施設でお客様をお迎えさせていただく所存です。さらに、今まで培ってまいりました料理、サービスにつきましても、時代の変化を見据え、より一層の磨きをかけて、ご提供することにより、国内だけではなく、世界の賓客に従来にも増してご支持いただけるホテルになるように邁進いたします。

(1) ホテル施設概要

The Okura Tokyoは、2つのブランドの特徴をより明確にするために、2棟の建物で構成いたします。

高層棟である「オークラ プレステージタワー」では、国際都市 東京の躍動感や洗練さに、和のアクセントを取り込んだコンテンポラリー・ラグジュアリーホテルを創造していきます。東京の眺望を満喫できるようにオークラ プレステージブランドの客室を28階以上に設置するとともに、オークラ伝統のレストラン、都内でも屈指の収容人数を誇り、大規模な国際会議などにも対応できる大宴会場なども擁するインターナショナルホテルとして運営してまいります。

一方、中層棟である「オークラ ヘリテージウイング」では、日本の美のエッセンスで創り込む、唯一無二のラグジュアリーホテルを創造してまいります。近年の都心部のラグジュアリーホテルがオフィスとの併設ホテルが多い中で、オークラ ヘリテージウイングは、オークラ ヘリテージブランドの広々とした間取りの客室や日本の和を表現する日本料理「山里」、茶室「聴松庵」などのホテル施設に絞って建物を構成し、日本の美を継承するホテルとしての独立性を確保するとともに、国内外の賓客の迎賓館ともなるホテルとして運営してまいります。



[オークラスクエア]

正面:オークラ プレステージタワー

左側:オークラ ヘリテージウイング 右側:大倉集古館

[敷地 西側からの外観図]

建物 正面奥: オークラ プレステージタワー

左側: オークラ ヘリテージウイング 正面手前: 大倉集古館

[敷地概要・建物配置計画]

約2.6haの敷地面積に対して、1.3haあまりの緑地・庭園を確保し、都会の中にあっても、ゆとりと品格ある空間を創出しながら、ホテル施設と自然環境や周辺環境との調和・共生を図ってまいります。

オークラ プレステージタワーは敷地の南に配置。一方、オークラ ヘリテージウイングは、敷地の中央に置き、北側は広大な緑地・庭園、南側は後述の「オークラスクエア」を望むことができるように配置しています。

大倉集古館、オークラ ヘリテージウイング、オークラ プレステージタワーの3施設に囲まれた空間(敷地の西南部分)には、内外の賓客をお迎えする象徴としての広場「オークラスクエア」を設置いたします。

オークラスクエアは、それぞれの建物を一望できる空間とし、また、中央に広大な水盤を設え、時間の経過とともに水面に映し出される大倉集古館をはじめとする様々な情景を楽しむことができるようにし、お客様の思い出に残る場所としてまいります。



[施設概要表]

	オークラ ヘリテージウイング	オークラ プレステージタワー	合計
高さ・階数	約75m(17階、地下1階)	約188m(41階、地下1階)	-
延床面積	約 27,000 m ²	約 153,000 m ²	約 180,000 m ²
客室 (うち 스위트ルーム)	140室 (うち7室)	368室 (うち10室)	508室(うち17室)
レストラン・バー	レストラン: 2 バー : 1	レストラン:3 バー :2	レストラン:5 バー:3
宴会場	-	大宴会場 2室 中宴会場 6室 小宴会場 12室	大宴会場 2室 中宴会場 6室 小宴会場 12室
婚礼施設 式場	-	チャペル 2施設 神殿 1施設	チャペル 2施設 神殿 1施設
ホテル付帯施設	茶室	クラブラウンジ フィットネス&スパ、プール オークラサロン デリカテッセン 囲碁サロン ショッピングエリア	-
その他施設		オフィス	
駐車場	ホテル用329台、オフィス用79台、その他19台		427台

(2) 建築設計・インテリアデザイン

本建物の建築設計は、大成建設株式会社設計本部を設計統括とした6社による共同設計体制です。その中で、ホテルオークラが培ってきた日本の伝統美の継承、そして次世代への橋渡しという観点から、ホテルオークラ東京旧本館ロビーを設計した谷口吉郎氏のご子息である谷口吉生氏が、2つのホテルロビー、日本の趣を表現する日本料理「山里」等の料飲施設、オークラスクエア等の設計にあたっております。

建築家 谷口吉生氏 (株式会社谷口建築設計研究所)

1937年東京生まれ。

ハーバード大学で建築を学び、丹下健三氏のもとで経験を積む。主な作品に「東京都葛西臨海水族園」「東京国立博物館法隆寺宝物館」「ニューヨーク近代美術館」「京都国立博物館平成知新館」「GINZA SIX」など。現在、建築家の父・谷口吉郎氏の生誕地(金沢)に建築博物館のプロジェクトなどが進行中。

【建築設計】

虎ノ門2-10計画設計共同体	大成建設(株)一級建築士事務所、(株)谷口建築設計研究所、(株)観光企画設計社、(株)日本設計、(株)森村設計、(株)NTTファシリティーズ
----------------	--

【インテリアデザイン】

	担当施設
(株)谷口建築設計研究所	ロビー、オークラサロン、日本料理「山里」、ファインダイニング、「バロンズ バー」
GAデザインインターナショナル	客室、クラブラウンジ、宴会場(2階)、グランドチャペル(7階)、オールデイダイニング「オーキッド」、メインバー「オーキッドバー」、バーラウンジ「スターライト」、デリカテッセン「シェフズガーデン」
(株)観光企画設計社	宴会場(7階、41階)、スカイチャペル(41階)、神殿(7階)、中国料理「桃花林」、鉄板焼「さざんか」
大成建設(株)一級建築士事務所	宴会場(1階)、オークラフィットネス&スパ、オークラショッピングアベニュー

【工事監理・コンストラクションマネジメント】 株式会社三菱地所設計

【施工会社】 大成建設株式会社

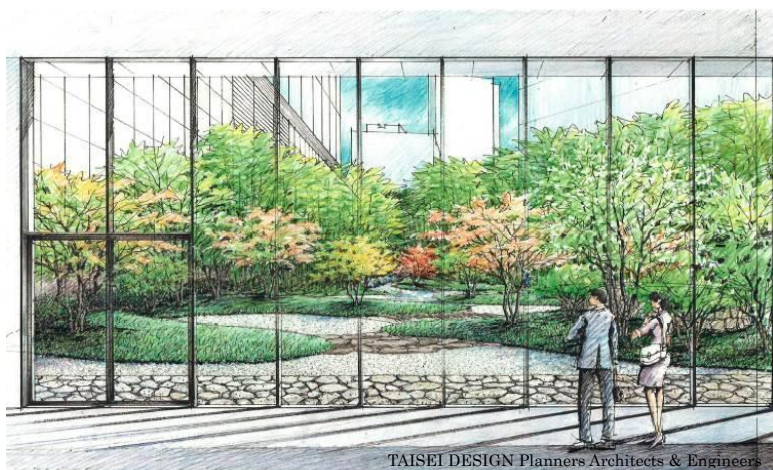
3. ホテル施設

(1) オークラ庭園について

高低差のある敷地形状を活かし、敷地の約半分の1.3haを緑豊かな庭園にいたします。敷地の西南角、敷地の中で最も高い場所となるホテルの正面エントランス前には、お迎えの空間としてシンボル性が高く品格のあるオークラスクエアを、敷地の北側および東側にはダイナミックな地形を活かし、圧倒的な緑量の立体的なオークラ庭園を設けます。

オークラ庭園は、オークラスクエアの水盤を起点として、滝、池、湿地など水の動きや流れを石や砂利を用いて「水の道」として見たて、敷地全体を枯山水の庭園として表現しております。

また、初春の梅に始まり、秋のモミジの紅葉まで、四季折々の風情を感じていただけるよう、様々な樹種を採り入れました。散策時には言うまでもなく、宴会場や日本料理「山里」からも一面のガラス越しに四季の移ろいを感じていただけるような設えとしております。



[オークラ プレステージタワー 2階宴会場ロビーからの眺め]

(2) ホテルロビー

◆ オークラ ヘリテージウイングのホテルロビー(ヘリテージロビー)



オークラ ヘリテージウイングのロビーは、静寂さとあたたかさを感じる独特の和の趣きをもったロビーにしていきます。オークラ プレステージタワーのロビーとの差別化を図るため、谷口吉生氏の設計のもと、ロビーの空間そのものを日本の床の間のように、静謐な場所として、その中にオークラを象徴するデザインをちりばめ、錦張り交ぜの壁面装飾や六角形のブラケット照明、鱗紋などのオークラアイコンが浮かび上がるような空間構成といた

しました。入口正面の壁面には、旧本館の大宴会場「平安の間」で使用されていた「三十六人家集の料紙」

を移設・再現いたします。

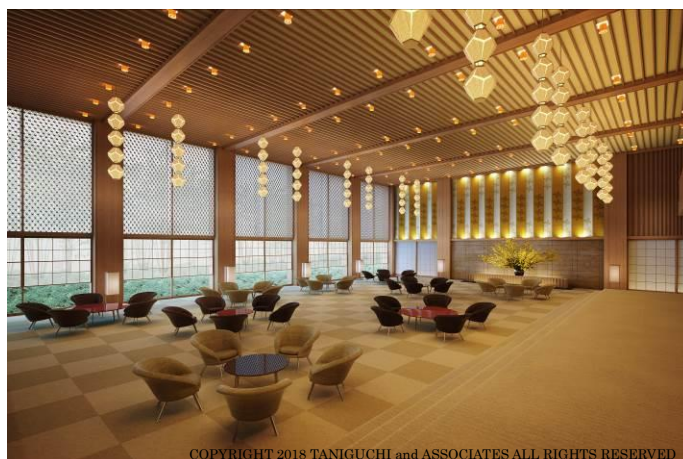
また、エントランス脇には、ライブラリースペースを設け、寛いだ空間で、お一人の時間を愉しんでいただいたり、待ち合わせをしていただくなど、ゆったりとした時間をお過ごしいただけるようにしております。



◆ オークラ プレステージタワーのホテルロビー(メインロビー)

谷口吉生氏の設計によるオークラ プレステージタワーのロビーには、日本館ロビーを精緻に復元し、日本館に息づいていた日本の伝統美を継承していきます。

オークラを象徴する照明器具「オークラ・ランタン」や、満開の梅の花のように見立てた「梅小鉢のテーブルと椅子」、六大陸各都市の時を刻む「世界時計」、そして「行燈」などを再配置していきます。また、色絵磁器の人間国宝 富本憲吉氏がデザインし、西陣の純絹のつづら錦に仕上げた



「四弁花紋様の装飾」や「麻の葉紋の木組み格子」などについては、日本館仕様そのままに製作いたします。日本館ロビーを復元するにあたり、かつての空間構成や照度・音響など様々な角度から調査・検証しており、その空気感までを含めて継承できるものと確信しております。

(2) 客室

客室は、オークラ ヘリテージウイング、オークラ プレステージタワーに、それぞれのブランドを体現する客室を展開していきます。

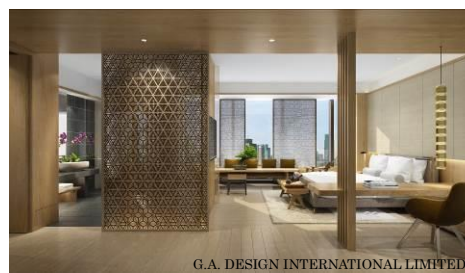
◆ オークラ ヘリテージウイングの客室

オークラ ヘリテージウイングの客室は、標準客室面積が約60㎡と、都内屈指の広さの客室となります。さらに間取りについても間口を8m以上とり、大きな窓を持つ開放感あふれる客室としております。気品と日本文化が薫るデザインの客室は、都会の中にあって心安らぐ寛ぎの空間を提供します。客室は、大きく分けて2タイプあり、リビング空間に大きな窓面をとったワイドリビングタイプと、浴室で外を見ながらゆったり寛げるビュー・バスタイプがあります。いずれのタイプの客室も浴槽はブローバスとし、また全室にミストサウナを設置しており、心身ともにリラックスできます。

また、建物北側に広大な庭園があることを活かし、6階～9階の建物北側の客室にはバルコニーを設置することで、庭園の眺めを外気にふれながら、ご堪能いただけます。



[ワイドリビングタイプの客室]



[ビュー・バスタイプの客室]

◆ オークラ プレストージタワーの客室

オークラ プレストージタワーの客室は、標準客室面積 約50㎡となります。間口が6.0mから7.2mとなる開放感あふれる空間を基準としております。客室は28階から40階に配置し、眼下に広がる大都会の眺望を愉しむことができます。客室は、オークラ ヘリテージウイングの客室と同様に、大きく窓をとるワイドリビングタイプと浴槽から大都会の眺望を望めるビュー・バスタイプをご用意いたしております。



[ワイドリビングタイプの客室]



[ビュー・バスタイプの客室]

◆インペリアルスイート

オークラ プレストージタワーの最上部である39階、40階の2層を使い、都内では例をみない広さのメゾネットタイプのスイートルームを設置します。3ベッドルームスイートとしても機能するインペリアルスイートの面積は720㎡と、日本最大の広さを誇るスイートルームとなります。2層吹き抜けのリビングルーム、ミーティングにも使えるシアタールームなども設置し、宿泊だけではなく、エグゼクティブミーティングなどにもご利用可能です。また、バスルームは、寝湯、打たせ湯なども設置し、究極の贅沢なスイートルームとなります。

オークラ プレストージタワー 39・40階



◆プレジデンシャルスイート

オークラ ヘリテージウイングの最上階である17階には、広さが256㎡の和を基調としたスイートルームを設置します。隣接する客室と接続すると約320㎡の広さの客室となります。リビングルームとバスルームから眺めることのできる坪庭を配し、和の趣きある客室を、より一層引き立て、寛ぎと癒しの時間を提供します。

オークラ ヘリテージウイング 17階



◆クラブラウンジ

オークラ プレストージタワー クラブフロア(37~40階)、およびオークラ ヘリテージウイングにご宿泊のお客様がご利用いただけるクラブラウンジ(37階)として、心地よい「もう一つの我が家」をコンセプトに約430㎡を有する解放的なくつろぎの空間をご用意いたしました。ミーティングルームや広々としたダイニング・スペースなどを設え、多様なご要望にお応えできるラウンジといたしております。

オークラ プレストージタワー 37階

(3) レストラン

レストランは、ホテルオークラ東京開業時より、多くのお客様からご愛顧いただいております。日本料理「山里」、鉄板焼「さざんか」、中国料理「桃花林」をはじめ、多彩な構成になっております。

日本料理「山里」

オークラ ヘリテージウイング 4階

日本料理「山里」は、五味・五法・五旬を基本に朝食から会席に至るまで本物の和食を追求・提供していきます。また、天ぷらに加え、従来なかった寿司カウンターや割烹カウンターを設置し、お客様との対話の中で最高の料理をご提供できるようにいたしました。内装設計は、谷口建築設計研究所が担当し、日本庭園と一体となった和の空間を演出。気品と品格を備えた「ホテル和食堂の最高峰」のレストランを目指し運営してまいります。(席数:全94席 個室:5室)



茶室「聴松庵」

オークラ ヘリテージウイング 4階

創業者 大倉喜七郎の雅号でもあった「聴松」にちなんだ「聴松庵」は、旧本館閉鎖時に解体・保存していた建築部材を用いて、オークラ ヘリテージウイングの4階、日本料理「山里」に隣接して復元いたします。聴松庵は、裏千家の代表的な茶席の一つとしている「又隠^{ゆういん}」の写しで、裏千家の大谷美津彦氏の設計により、ホテルの中とは思えない茶席の風情をつくりだし、国内外を問わず、多くのお客様からご愛顧いただいております。今般、谷口吉生氏により、かつての「聴松庵」の趣きを残したまま、その姿を再現いたします。

ファインダイニング

オークラ ヘリテージウイング 5階

日本のフランス料理の父とも称され、オークラフレンチの礎を築いた総料理長 故小野正吉の系譜を引くファインダイニング。食通達が愛してやまないオークラフレンチの世界に四季が織りなす日本の食文化も融合させた新しい世界を提案いたします。和を感じる静謐な店内でお客様お一人お一人に合わせたお料理をご提供していきます。(席数:全58席 個室:1室)



オールデイダイニング「オーキッド」

オークラ プレステージタワー 5階

朝食から深夜まで様々なシーンにあわせ、食のオークラの集大成ともなる料理の数々をご提供します。シェフ・パティシエ・バリスタの動きが見える吹き抜けの開放的な空間にはライブ感あふれるオープンキッチン、テラス席なども備え、スタイリッシュ&スマートをテーマに、洗練された上質なホテルダイニングをご提供していきます。

(席数:全211席 [うちテラス席 33席] 個室:2室)



中国料理「桃花林」

オークラ プレステージタワー 6階

日本初のホテル直営の広東料理レストランとして1962年にオープン。日本人の味覚にあった広東料理を常時200品以上提供し、多くのお客様に愛されてまいりました。新しい桃花林では、伝統の味を継承するとともに、四大中国料理を含む幅広い中国料理をご提供する「オーセンティック・チャイニーズ」として展開します。店名の由来である中国の桃源郷の物語からインスパイアされる優雅な色調や中国の自然などをモチーフとして取り込んだ店内で、本格的な中国料理をご堪能いただけます。〈席数:全144席 個室:6室〉



鉄板焼「さざんか」

オークラ プレステージタワー 41階

鉄板焼「さざんか」は、1964年東京オリンピックの際に海外からのお客様に日本の食材を使った新しい「お肉料理」を紹介することを目的につくられました。ホテル鉄板焼レストランの魁となった歴史あるレストランです。自然を尊び、土の個性を捉え独自に発展した日本の焼物から着想を得て、「土と炎の美」の魅力が空間全体に展開する店舗で、ホテル鉄板焼最高峰の品質とスタイリッシュな洋感覚の和の世界を、トップフロアの眺望とともに、ご提供していきます。〈席数:全80席 個室:5室〉



(4) バー

メインバー「オーキッドバー」

オークラ プレステージタワー 5階

お客様から愛され続けてきたホテルメインバー「オーキッドバー」の伝統と格式を継承し復活。従前のオーキッドバーのエッセンスとぬくもりの中に現代のスタイルを取り入れています。200種類以上のウイスキーコレクションを備え、文化の香りのする大人のバーとして皆さまをお迎えいたします。〈席数:全83席〉



バー ラウンジ「スターライト」

オークラ プレステージタワー 41階

オークラ プレステージタワーのトップフロアにあり、エレガントな空間で、大都市東京及びその周辺のスカイラインをお楽しみいただけます。テーマは「もう一つの旅を通じた発見」。店内は、賑わいの空間であるThe Bar、寛ぎの空間のThe Lounge、贅沢の空間のThe Chef's Placeの3つのゾーンに分かれ、それぞれの独自の物語が展開され、世界の銘酒と多彩な美食で至福の時を演出します。世界各国からお越しになるお客様の活気に包まれ、国際都市 東京の躍動感を感じていただけます。〈席数:全109席 個室:2室〉



火山灰に埋もれ腐食することなく数百年を経た埋もれ木は神代と呼ばれる貴重な樹木。その神代ニレの1本木をバーカウンターに使い、シンプルで、かつ居心地のよい大人のバー空間を演出します。オークラ ヘリテージウイングにあるバーとして相応しい「選ばれし人々の隠れ家」的なバーです。
〈席数:全51席 個室:1室〉



(5) 宴会場

オークラ プレステージタワーには、最大で2,500名を収容ができる大宴会場をはじめ、合計20室の宴会場を設置いたします。

大宴会場「平安の間」は、ホワイエおよび正対する中宴会場「曙の間」と一体利用が可能で、合計約3,000㎡の都内でも屈指の広さの宴会場となります。平安の間は、旧本館の平安の間にありました「三十六人家集の料紙」に代わるものとして、大倉集古館が所蔵する国宝「古今和歌集序卷子本」をモチーフに壁面装飾を新たに製作しました。また、網代天井と光膜天井を融合させた天井デザイン、「薔戸(しとみど)」をモチーフとした扉、正倉院柄のカーペット、「五七の桐文様」のスライディングウォールなどの要素を取り込み、平安という名にふさわしい優美で品格のある「和」の宴会場の空間を創造。また、最新テクノロジーによる音響、映像、照明設備を完備し、大規模なレセプション、国際会議、イベントなどにもご利用いただけます。



[オークラ プレステージタワー1階 平安の間]

【宴会場一覧】

宴会場	場所	面積	天井高	最大収容人数
平安の間	Pre 1階	2,000㎡	7.5m	2,500名
オーチャード	Pre 2階	700㎡	6m	600名
曙の間	Pre 1階	500㎡	4m	400名
メイプルルーム	Pre 7階	350㎡	4.5m	250名
その他中小宴会場 16室	-	30~200㎡	-	-

*Pre は、オークラ プレステージタワーを示します。

*収容人数は立食形式の場合を示します。

(6) 婚礼施設

オークラ プレステージタワーのトップフロア41階のスカイチャペルは、東京湾のベイサイドを望む窓を2面に配し、柔らかな陽光が差し込みます。天空に浮遊する感覚を演出する白い大理石と、自然の草木柄が綿密にレリーフされたガラススクリーンで構成された空間は、人生の節目となる挙式を明るく華やかで、そして特別な雰囲気包みこみます。

また、同棟の7階には、もう一つのチャペルであるグランドチャペルと神殿があります。グラン

ドチャペルは、庭園の風景美を偲ばせる特注品のアートワークを特徴とするステンドグラスの壁や天井の琥珀色のガラスのペンダントが全面木製のパネルのぬくもりとのコントラストを描き出します。英国に本拠を置く GA インターナショナルが創りだすクラシカルとエレガントのバランスが「一生に一度」の結婚式を祝うのにふさわしい思い出に残る優雅なムードを演出します。また、神殿は、総檜造りで、旧本館から受け継ぐ鳳凰文の扉と、永遠を意味する橘をモチーフにしたカーペットを配し、新郎新婦の絆を象徴する空間としていきます。また、お客様の利便性を確保するために、その他の婚礼付帯施設も同フロアに集中して配しております。



[スカイチャペル]



[神殿]

(7) 付帯施設

「オークラサロン」

オークラ プレステージタワーの6階には、商談や打ち合せにも使えるスペースとして、サロンを設置いたします。広い窓からは、オークラスクエアの水盤と大倉集古館が望める贅沢な空間です。

オークラ プレステージタワー 6階



「オークラフィットネス&スパ」

オークラ プレステージタワー 26・27階

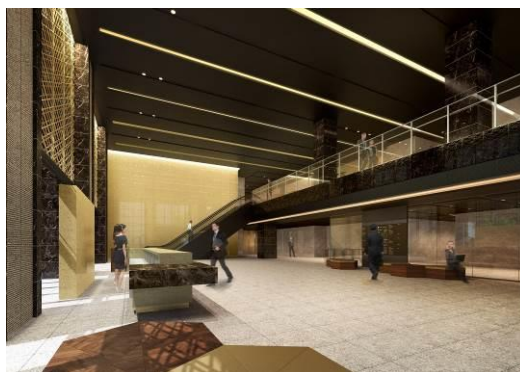
日本のラグジュアリーホテルで国内初の会員制スポーツクラブとして、1973年の別館開業時に誕生し、常にお客様の健康維持管理のサポートを続けてまいりました「オークラヘルスクラブ」が新たに「オークラフィットネス&スパ」として、オークラ プレステージタワー 26・27階に誕生します。オークラフィットネス&スパは、独立性の高い専用フロアで、四方に開放された窓から東京を一望できます。デザインコンセプトは「和と洋の文化が融合した天空の癒しの空間」。パノラマが広がるジムやプール・ジャグジー、静謐な空気が流れる浴室・サウナは、心身をリフレッシュさせる空間となっています。



ジムには最新のトレーニングマシンをそろえ、プールは25m×5レーンの本格的な温水プールです。従来よりご好評をいただいておりますトレーナーによる運動指導や看護師による健康チェックも継続して行っております。また、27階に併設するリラクゼーションルームや26階のスパトリートメントルームは、プライバシーが高く、上質なリラクゼーションを提供する空間として新たにスパを融合し、トータルウェルネスを追求できる、より充実した環境を整えた施設となります。

4. オフィス

オークラ プレステージタワーの8階から25階(延床面積:約64,000㎡、基準階貸室面積:約2,300㎡)は、オフィスフロアとなります。同オフィス部分は、当社を含め、新日鉄興和不動産株式会社、大成建設株式会社等が出資する特別目的会社の所有となります。8階にはオフィスワーカーの多様なニーズに応えるテナント専用のラウンジを設置するなど、オークラ プレステージタワー内にあるオフィスとして、上質かつ上品なデザインを採用するとともに、最先端のスペックを備えたグローバルビジネス拠点に相応しいオフィス環境をご用意いたします。



[オフィス エントランス ロビー]

5. 大倉集古館

大倉集古館は、大倉財閥創設者の大倉喜八郎が設立した日本で最初の私立美術館です。喜八郎とホテルオークラ創業者の息子・大倉喜七郎の親子が蒐集した日本・東洋の古美術、そして近代絵画を中心に国宝3件、重要文化財13件および重要美術品44件をはじめとする約2,500件の美術・工芸品を所蔵しています。建物は国の登録有形文化財となっており、ホテルに滞在の多くのお客様に日本・東洋美術の粋にふれる機会を提供しています。大倉集古館は増改築工事に伴い休館しておりましたが、『The Okura Tokyo』とともに、再オープンいたします。

6. 今後のスケジュール

『The Okura Tokyo』開業に向けての今後の予定は下記のとおりになります。

開業日	:2019年9月上旬			
予約開始日	:宴会のご予約	2018年9月	婚礼のご予約	2018年9月
	宿泊のご予約	2019年4月		

<株式会社ホテルオークラ 会社概要>

ホテルオークラは1958年に設立、1962年にフラッグシップホテルである「ホテルオークラ東京」を開業しました。資本金30億円、「Best A.C.S.」(A:Accommodation、C:Cuisine、S:Service=最高の設備、最高の料理、最高のサービス)を経営方針とし、現在では、ホテル資産・ホテル事業会社およびホテル 関連事業会社の所有・管理、ホテル事業(開発・運営)に関するコンサルティングなど、幅広く事業展開しています。ホテルオークラは、日本国内だけではなく海外の国々と質の高いグローバル・ネットワークを築いてきました。日本文化のきめ細かな心くばりとヨーロッパやアメリカの機能性を融合させた「オークラ」のおもてなしは、世界中の皆様にくつろぎと快適な空間を提供いたします。ホテルオークラの子会社である株式会社オークラ ニッコー ホテルマネジメントにおいて「オークラ ホテルズ & リゾーツ」、「ニッコー・ホテルズ・インターナショナル」、「ホテルJALシティ」の3つのチェーンを運営しており、現在、国内 47、海外26の合計73ホテル、総客室数22,671室を展開しています。(2018年6月1日現在)

また、株式会社ホテルオークラ東京は、株式会社ホテルオークラの100%子会社のホテル経営会社であり、「ホテルオークラ東京(別館)」に加え、『The Okura Tokyo』を運営いたします。

【ホテルオークラのブランド展開について】

株式会社ホテルオークラは、オークラ ホテルズ & リゾーツとして、「オークラ ヘリテージ」「オークラ プレステージ」「ホテルオークラ」の3ブランド、ニッコー・ホテルズ・インターナショナルとして、「グランドニッコー」「ホテルニッコー」「ニッコースタイル」の3ブランド、そして、「ホテルJALシティ」ブランドの合計7ブランドを展開してまいります。

【ホテルオークラの今後の事業展開について】

株式会社ホテルオークラは、事業戦略として、アジアマーケットの開拓に注力しており、当グループが有する3つのチェーンにおきまして、今後下記のホテルの開業を予定しております。

オークラ ホテルズ & リゾーツ

2018年開業予定：「ホテルオークラマニラ」

2019年開業予定：「オークラ スパ&リゾート カップドキア」

2020年開業予定：「オークラ プレステージサイゴン」、「オークラ プレステージヤンゴン」
「オークラ プレステージプノンペン」、「ホテルオークラマニラ」(※)

2021年開業予定：「オークラ プレステージ台中」 (※)ホテル名は変更を予定しております。

ニッコー・ホテルズ・インターナショナル

2018年開業予定：「ホテル・ニッコー・バンコク」

2020年開業予定：「ホテル・ニッコー・ハイフォン」

ホテルJALシティ

2019年開業予定：「ホテルJALシティ名古屋 錦」

2019年開業予定：「ホテルJALシティ札幌 中島公園」 (2018年6月1日現在)

・CG パースは下記 URL よりダウンロードをお願い致します。また CG パースをご使用の際は、指定のコピーライトを記載いただきますようお願い申し上げます。(コピーライトは CG パースのタイトルに記載しております。)

<http://u0u0.net/KHLq> パスワード:okura

・The Okura Tokyo コンセプトムービーは下記よりご覧いただけます。

<https://youtu.be/Q4pSblF-W1Q>

・The Okura Tokyo 公式ウェブサイトは下記よりご覧いただけます。

<http://www.hotelokura.co.jp/tokyo/toward2019/>



コンセプトムービー

「The Okura Tokyo」に関するお問い合わせ先

株式会社ホテルオークラ東京 広報担当 松本／小栗／服部

〒105-0001 東京都港区虎ノ門2-10-4

Phone:03-3224-6731 FAX:03-5473-1523 E-mail: pr@tokyo.hotelokura.co.jp

本件リリースに関するお問い合わせ先

株式会社ホテルオークラ 広報担当 天野／荒井／鈴木

〒140-0002 東京都品川区東品川2-4-11

Phone: 03-6864-2729 FAX:03-6864-2739 E-mail: pr@hotelokura.co.jp

*6月25日(月)のお電話でのお問い合わせは 03-3224-6731にお願いいたします。